

昨年度は具体的に映画化の可能性を追求

映像化の取り組みの情報が出て行く中で、強力なメンバーから打診がありました。尾花沢市出身で、NHK山形「今夜はなまらナイト」で活躍している脚本家であり小説家である阿部（あべ）美佳氏と、プロデューサーであり役者である岡雅史氏からです。お二人とも、都内に拠点を置き活躍している方々ですが、「女医志田周子」の生き様に惚れて、お手伝いできることがあればとお申し出いただく

とともに、その映画化の可能性について言及していただきました。本当に映画化に取り組むのか決まっているわけでもなかった時に、また、資金があるわけでもない状態にもかかわらず、その熱意には感謝の至りです。そのご縁を大切にしていって、中央の映画制作事情に詳しいお二人に、実際、映画を制作するとすれば、どんなストーリーにするか、また、どのぐらいの資金が必要になるのか、昨年度、

その調査をお願いしました。（現地調査込み）ストーリーの内容については詳細を明かすことができませんが、阿部氏にはオオバコ（ストーリー概要）を書いていただきました。女医周子の功績だけではなく、一人の女性、一人の人間「周子」が悩みながら、地域や周囲の人々との触れ合いや葛藤を経て歩んでいく人生物語です。拝読した各委員からは賞賛の声でした。制作の手法、スケジュール、配役、資金等については岡氏より報告をいただきました。

東京でも本企画に賛同して、協力を申し出てくださっている方が既にいるとのことでした。映画制作はいろんな手法があり、可能性は充分とのことでした。また、制作費を回収できる手法も示していただきました。さらに、映画の制作テーマは、地域における医療問題等、現代にも通じる普遍的なものであり、多くの方が関わる地域づくり型映画を目指すべきとの提言をいただきました。

これら報告は、実行委員会や町に直接行っていただきました。



阿部美佳氏。日本農業新聞連載「雪まんま」(NHK出版)大反響。NHK時代劇「陽炎の辻」シリーズ脚本。数々の脚本賞受賞。「この映画はきっと皆さんの宝になるでしょう。全力で応援致します！」



岡雅史氏。俳優。プロデューサーとしても活動中。最近「はやぶさ遙かなる帰還」に出演。「映画も町も、人の知恵と力が結集されて作られるものです。一緒に頑張りましょう！」

2012年9月14日 第1号

ちかこしんぶん

# 周子新聞

発行: やまがたの宝「志田周子」資源活用化実行委員会  
(事務局-西川交流センターあいべ内)

TEL 0237-74-3131 FAX 0237-74-3219

〒990-0703 山形県西村山郡西川町大字間沢 280

E-mail: [shogai@town.nishikawa.yamagata.jp](mailto:shogai@town.nishikawa.yamagata.jp)



昭和三十四年、その功績により、「保健文化賞」を受賞し、賞状を手にする周子先生

山形県で保健文化賞を受賞した志田周子先生(昭和34年9月)

## 女医「志田周子」の生き方は地域・町そして県の宝

皆さんは、女医「志田周子」をご存知でしょうか。昭和初期、当時、陸の孤島と言われ、無医村であった大井沢村で診療を行い、村民の生命を守るとともに、女性活動の先駆者として婦人会会長や村議会議員（後に西川町女性議員第一号に）を務め、また、優れた歌人としても名を残しました。女性であるがゆえの逆境、母親の死による弟たちの母親代わり、村民の大きな期待... 独身を通し、幾多の困難を乗り越えながら村（地域）のために生涯を捧げたひとりの女性の生き様は、時を経て

も、現代に生きる私たちの心に訴えてくるものがあります。また、社会的な公人としての活躍の合間に見える一人一人「周子」の表情も魅力的な輝きを放ちます。その「女医志田周子」の生き方を宝として捉え直し、映画化を行うことによって、後世に伝えていくとともに、地域や町、ひいては山形県の活性化に役立てていこうという動きが始まりました。この手作り新聞発行もその一環ですが、ご愛読いただき、多くの方々のご参画をいただければと願っています。

# 動き出す映画化運動

映像化の話は、そもそも四年前から

「女医 志田周子」の映像化の話が持ち上がったのは、四年前にさかのぼります。村山総合支庁が地域に尽力した人物を「やまがた「地域の宝」」とする調査を開始し、その人物の中に、「女医志田周子」が選定され、当初、NHKの朝の連続ドラマにできないかと話し合われたのがきっかけでした。しかし、NHKでは、既に、女医を主役にした大河ドラマ（1986年「いのち」主演三田佳子）が放映されており、二番煎じになり、その制作の可能性が低いとする意見が出され、新たな手立てを検討すべきと結論付けられていました。

## 今年度は映画化の「(仮)志田周子の生涯を銀幕で甦らせる会」結成を賛同者を募集して

これまでの取り組みを受け、今年度は、町内外に関わらず、映画化に賛同する多くの方々を募集して、具体的に映画化に向けた活動を展開できる「(仮)志田周子の生涯を銀幕で甦らせる会」の結成を目指していきます。これまでの活動の中でも、「女医志田周子」とご縁のある方や山形県医師会などの組織ともつながってまいりました。もちろん、阿部氏や岡氏にもアドバイザーになっていただき、民間主体の活動の輪を広げていきます。ぜひ、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

二年前に実行委員会を組織、活動展開

それまでの流れを受けて、ぜひ、つないでいこうと二年前に組織されたのが、やまがたの宝「志田周子」資源活用化実行委員会です。地元、町及び県の関係機関で構成され、委員会及び事務局会議が置かれています。この実行委員会では、一昨年度（平成2

2年度）は周子先生の生誕百周年に当たることから、その普及啓発運動を中心に展開し、昨年度（平成23年度）は、映像化の手段として「映画化の可能性調査（ストーリー概要、制作費等について）」を実施してまいりました。

■やまがたの宝「志田周子」資源活用化 実行委員会の組織

No.	委員会構成メンバー
1	西川町大井沢区 区長
2	西川町大井沢区 副区長
3	西川町芸術文化協議会 会長
4	西川町芸術文化協議会 常任理事
5	月山朝日観光協会 会長
6	西川町婦人会 副会長
7	西川町婦人会 副会長
8	山形県村山総合支庁地域振興課 課長
9	山形県村山総合支庁観光振興室 室長
10	西川町政策推進課 課長
11	西川町教育委員会学校教育課 課長
12	西川町商工観光課 課長
13	西川町大井沢支所 支所長
No.	事務局会議構成メンバー
1	西川町大井沢区 事務局
2	山形県村山総合支庁地域振興課 専門員
3	山形県村山総合支庁観光振興室 室長補佐
4	西川町商工観光課 商工観光係長
5	西川町教育委員会 学校教育課主幹
6	西川町教育委員会生涯学習課 課長
7	西川町教育委員会生涯学習課 生涯学習係長
8	西川町教育委員会生涯学習課生涯学習係主任

【生誕100周年（H22）記念事業】としてこんなことを展開してきました

- パンフレット作成
  - 8P構成、写真、活動略歴、生涯年表、関係冊子紹介、地域背景説明等、1,000部印刷、配布
- 周子の生涯に学ぶシリーズ学習会の開催
  - 「女医周子」を知る方を囲んでの懇談会
  - 町立図書館講座「高橋義夫氏を迎えて“心に響く文章講座”」との連携
- 周子生誕100周年記念講演会&コンサート開催
  - 直木賞作家高橋義夫氏講演
  - コロラド在住周子へ捧げる「月の山」作詞作曲者—岩瀬明美氏公演（約300名参集）
- 映像化への働きかけ
  - NHK「今夜はなまらナイト」出演脚本家の阿部美佳氏（県尾花沢市出身）から連絡
  - 劇団プロデューサー岡 雅史氏の紹介
- 巡回パネル展の開催
  - 女医の当時の活動を写真パネル約20枚で紹介
  - 大井沢秋まつり、村山総合支庁ロビー、あいべ、やまぎんプラザ（山形市）、県医師会シンポジウム時で展示
  - やまがた市民活動まつりに参画、取組啓発
  - 随時山形駅自由通路でのイベント情報提供
- 大井沢診療所見学開放（現在：志田義郎氏所有）
  - 大井沢秋まつり時一般公開
- 資料の整備
  - これまでの民放放送番組確認、図書館整備資料の確認等
- 県政番組等での番組制作、放映
  - YBCサンデー5、YBCニュースエブリ「時を越えて」
- 渉外交渉
  - （山銀）西川経友会総会で取り組みの説明
  - 大井沢の夏まつり時に女医周子のスライド上映、岩瀬氏曲「月の山」紹介、パンフ配布、“周子スカッシュ”販売等
  - 一連の事業に対する「山形女性医師ネットワーク」の後援承諾
  - 一人芝居役者の今田裕美子氏のひとり語り「オリオン星の歌〜月山に生きる宝〜」（YBC制作ラジオ番組放送）が日本民間放送連盟コンクール東北・北海道ブロック優秀賞受賞、葵ひろ子コンサート時受賞祝賀会
  - 大井沢秋まつりのタイトルに「やまがたの宝“志田周子”生誕100年記念」と設定
  - 東北公益大学事業構想企画部（アカデミー賞「おくりびと」脚本家 小山薫堂教授）授業で「志田周子を活用したまちづくり」をテーマに講義、山形新聞夕刊4回連載
  - 朝日新聞広告掲載「志田周子医師 生誕100周年」（山形女性医師ネットワーク、さとこ女性クリニックがスポンサー）
  - 志田周子生誕100周年記念《地ビール月山「大井沢」》発売、約600本の販売実績
  - 山形県医師会主催「女性医師をサポートするためのシンポジウム“志田周子先生生誕100周年記念特集“”で高橋義夫氏が「よみがえる周子〜周子の生き方を現代から問う〜」講演&総合討論
  - 県地域医療対策課作成「山形県医師募集」ポスターで女医周子がシンボルキャラクターとして取り上げられ、県外に掲示



← 大井沢の子どもたちを診療する「女医周子」



← 「女医周子」が勤めた当時の大井沢診療所

女医「志田周子」の年譜

年号	年齢	記事
明治43年		西村山郡左沢町に生まれる
大正3年	3	父莊次郎氏が大井沢校長に榮進し、大井沢に移住
	12	大井沢尋常小学校卒業
昭和3年	17	山形第一女学校卒業
	22	東京女子医学専門学校卒業 医師免許取得、付属病院医局勤務
10年	24	大井沢診療所医、村医、学校医となる (土蔵に仮設診療所設置)
13年	27	母せい死去
14年	28	大井沢婦人会長に就任(以来20年間)
17年	31	西村山郡医師会、県医師会より表彰
20年	34	弟惣次郎戦死
21年	36	郡連合青年団参与、県民生委員就任
22年	36	大井沢村議会議員当選
25年	39	父莊次郎死去
26年	40	大井沢村議会議員再選
29年	43	大井沢中学校教諭室岡夫妻長女「由里」 を生後2ヶ月より昼間預かり愛育する 町村合併により西川町議会議員となる
30年	44	町国保運営協議会委員、民生委員推選 委員、社会教育委員に任命
31年	45	NHK宮田輝訪問「僻地に生きて二十年—ある女医の一生—」放送 県学校保健連合会、県教育委員会、 県知事より表彰
32年	46	NHKラジオ特別特別番組「僻地に生きる」放送 県医師会、県公衆衛生大会にて表彰
33年	47	村山地方議会議長会より表彰
34年	48	第11回保健文化賞受賞
35年	49	室岡先生転任、「由里」が山形へ
36年	50	県人権擁護委員に任命
37年	51	がんを患い県立山形病院内科に入院 山形病院から桂外科に転院 7月18日午後5時40分永眠